

個人からも！団体からも！
参加無料
参加者募集

令和7年度男女共同参画の視点を取り入れた防災リーダー養成講座

連続講座(全3回)+交流会

アバンセ

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

5 5.11 11

私たちは持続可能な開発目標支援（SDGs）をしています

市民カレッジ
夢ハレットさが



防災まちづくり

～私たちができること～

NOひとりぼっち！



地域には、性別や年齢、乳幼児や乳幼児を育てる家族、介護が必要な人、ケア役割を担う人など、多様な人たちが生活しています。

この講座では、男女がともに共同しながら、誰ひとり取り残さない安全・安心な災害に強いまちをつくるために、私たち一人ひとりができることを考えていきます。

女性や多様な視点を入れた防災を学びたい

安全で安心な避難所の運営方法を知りたい

こんな方におススメ
だワン

啓発活動や災害時に役立つスキルを身に着けたい



『神崎市マスコットキャラクター「くねんワン」「くねんニャン」』

会場は
神崎市
だニャン

1 1月10日(土) 13:00-16:00

地域づくり×防災 ～互近助で、みんなが主役！～

地域での啓発活動や災害時に役立つ実践的なスキルを、講師の被災経験と地域活動の経験から学びます。誰もが楽しめる目からウロコの防災術です。

2 1月17日(土) 10:00-12:00

男女共同参画×防災 ～その時、被災地で何が起きたのか～

被災地では、性別や立場によって被災の状況が違いました。どんな問題が起きていたのかを学び、その対策について考えます。

3 1月17日(土) 13:00-16:00

「学び」を「かたち」に
～防災・減災プログラムづくり～

これまで学んだことを活用して、誰もが取り残されない、地域の実情やニーズに合った取り組みを考えます。

【第1、2、3回 会場】
神崎市千代田公民館 2階 多目的室2-1
(神崎市千代田町直鳥166番地1 神崎市千代田交流センター内)

NOひとり
交流会

自由参加、連続講座の参加経験がある方が対象！

1月18日(日) 10:00-14:00

男女共同参画の視点を取り入れた
避難所運営訓練

非常食の試食あり！

～能登半島地震の教訓をもとに～

体育館を会場に、実際に防災資機材を使って避難所運営を体験します。「災害関連死ゼロ」の避難所にするために必要なことを学びます。



会場 次郎体育館 (神崎市千代田町直鳥166番地2)

講師

第1回

柳原 志保さん

(防災クリエイター しほママ)



第2回、第3回、
避難所運営訓練

小山内 世喜子さん

(一般社団法人 男女共同参画
地域みらいねっと 代表理事)



【申込先・問い合わせ先】

佐賀県立男女共同参画センター（アバンセ）

TEL 0952-26-0011 FAX 0952-25-5591

E-mail danjo@avance.or.jp

＼お申込みはこちら／



⇒ 詳細は、裏面をご覧ください ⇒

事前にお申込みが必要です

申込受付開始 11月11日(火)10:00～

※受付開始前にいただいたお申込みは、翌日11/12(水)の受付分といたします。

主催 / 佐賀県立男女共同参画センター(アバンセ) 共催 / 神崎市(防災危機管理課、市民課)

NOひとりぼっち！ 防災まちづくり

対象：地域で防災活動をしている方や関心のある方
はじめて参加される方、優先

定員：20名程度（事前申し込み・先着順）

申込：右の二次元コードの申込フォーム、
または裏面の申込書の必要事項を
申込先にお伝えください。



申込受付開始 11月11日(火)10:00～

※受付開始前にいただいたお申込みは、
翌日11/12(水)の受付分といたします。予めご了承ください。

一時保育：無料、若干名（生後6か月から就学前まで）
※12/16（火）までにお問合せください。



交流会を除く連続講座（3回）全てに
参加された方に修了証を交付します。

参加者の声

- ◆ 避難所での問題を、日頃から考えることは大切なことだと思いました。性被害の実態を聞いたことで大変勉強になった。人が知恵を出し合うことの大切さを改めて感じた。普段からの勉強や対策がいかに大切か、逆に広めることのむずかしさもあると知った。
- ◆ 自分になにが出来るかを見直すことができ、これからどのようにしていくかを考えるチャンスになった。
- ◆ 実際に避難所運営訓練を体験することで、机上の学びとは違ってイメージが付きやすかった。他の人の視点での気づきが大きかった。
- ◆ 災害時に女性の担い手が必要。

講師プロフィール

第1回

柳原 志保さん

（防災クリエイター しほママ）

防災士／栄養士／コミュニティーカウンセラー／ペット防災サポート士
1972年 宮城県多賀城市生まれ / 熊本県和水町在住

東日本大震災で自宅が大規模半壊、避難所生活を経験。翌年熊本へ移住し、地域おこし協力隊として3年間活動。その後、熊本地震や豪雨も体験。『歌う防災士』として全国600カ所以上、延べ6万人に講演やワークショップを実施。『防災クリエイター』として防災運動会や防災婚活など、地域課題に対応した企画・監修を手がけ、誰もが参加できる入口を提案。防災啓発の可能性を拡げている。熊本県防災会議委員、ひとり親家庭支援団体の会長などの地域活動、NHK、AERAなどメディア出演多数。

第2回、第3回 避難所運営訓練

小山内 世喜子さん

（一般社団法人 男女共同参画
地域みらいねっと 代表理事）

青森県防災アドバイザー／防災士／国家資格キャリアコンサルタント

東日本大震災以降「防災と男女共同参画」をテーマに防災人材育成研修やジェンダー視点を取り入れた防災教育、避難所運営訓練を市民・若年層・行政職員などのべ35,000人以上を対象に全国で実施。参加者の主体性を尊重した「誰一人取り残さない」地域づくりにも貢献。2024年1月の能登半島地震以降、12回にわたって被災地穴水町などの被災者支援に入り、避難所の開設、運営にも携わる。NHK「日曜討論」「おはよう日本」などに出演。国（内閣府、文部科学省）の有識者会議委員、内閣府男女共同参画能登半島地震対応状況調査委員会委員、山梨県防災会議地震部会委員も務める。青森市在住。

■ 参加申込書 ■

※お申込み後、5日を経過しても参加の可否について連絡がない場合は、アバンセまでご連絡ください。
※お申込みの際に収集した個人情報は、本事業の目的以外で使用することはありません。

(ふりがな) 氏 名			お電話	
所属団体(グループ)が ある場合 名称・主な活動			メールアドレス	
ご住所 (交流会のご案内・一時保育の書類 等をお送りします。)	〒			
一時保育(12/16※) (生後6か月から就学前まで)	☐ 不要	お子さんの名前(ふりがな)・年齢		お子さんの名前(ふりがな)・年齢
	☐ 申込(右欄も記入)	(歳 か月)		(歳 か月)

①「参加動機」や②「災害にあった経験の有無・いつ・どこで」③「災害を支援した経験の有無・いつ・どこで」④「防災の経験(自宅内でもOK)の有無・どんな」などを教えてください。(書き方の例：①団体の活動の参考にしたい②無③有・佐賀豪雨・大町④家具の固定、非常持ち出し袋の準備など)

【申込先・問い合わせ先】

佐賀県立男女共同参画センター（アバンセ）

TEL 0952-26-0011 FAX 0952-25-5591

E-mail danjo@avance.or.jp

URL <http://www.avance.or.jp> 〒840-0815 佐賀市天神三丁目2-11

佐賀県立男女共同参画センターの事業は、佐賀県からの委託を受けて(公財)佐賀県女性と生涯学習財団が実施します。
天候や感染症の流行等によっては、講座を中止または変更する場合があります。